

平成 21 年度 第 1 回磯子区地域福祉保健計画推進委員会 次第  
(スイッチON磯子推進委員会)

日時：平成 21 年 6 月 22 日 (月) 18:30～20:30

場所：磯子区役所 701 号会議室

・ あいさつ

・ 委員委嘱

・ 議 題

1 各地区の取り組みについて

資料 1

2 あなたの提案実現事業、しあわせバンク事業について

資料 2

3 今後の計画推進と第 2 期計画の策定について

資料 3

- (1) 第 2 期計画策定のスケジュール概要
- (2) 第 2 期計画策定委員会の設置
- (3) 第 2 期計画策定委員会の委員構成
- (4) 今後の第 1 期計画推進委員会 (本会) の進め方
- (5) 福祉と保健に関する地域調査の内容・取組状況
- (6) 第 2 期計画懇談会補助金
- (7) 3 年間の振り返りアンケートのまとめ

4 その他

・ スイッチON磯子「まめ通信」第 2 3 号

資料 4

<資 料>

- ・ 磯子区地域福祉保健計画推進委員会設置要綱
- ・ 磯子区地域福祉保健推進活動補助金交付要綱
- ・ 磯子区地域支えあい事業実施要綱
- ・ 磯子区あなたの提案実現事業補助金交付要綱
- ・ 磯子区しあわせバンク事業補助金交付要綱
- ・ 平成 2 1 年度磯子区地域福祉保健計画推進委員会委員名簿

資料 5

資料 6

資料 7

資料 8

資料 9

資料 10

横濱開港 150 周年



■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績-21年度計画)

根岸

資料1

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)				
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容		
根岸	福祉お楽しみ会	交流	高齢者	○	○	○											地域ケアプラザ職員等	根岸地区在住の高齢者	支えあい訪問を拒否される方々を対象として、外出の機会の提供、友人づくり、情報の伝達、自立支援を目的としてお楽しみ会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 6月22日(31人参加) 内容:講話「悪徳商法について」、頭の体操(ことわざ)、リズム体操、唱歌等。</li> <li>・第2回 10月26日(57人参加) 内容:ハワイアンバンド演奏とダンス リズム体操。</li> <li>・第3回 2月24日(42人参加) 内容:紙芝居、リズム体操、マジック、唱歌等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出の楽しみができた。</li> <li>・楽しい会話で交流できた。</li> <li>・地域ケアプラザ・民生委員・ボランティアへのつながりで情報を得られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行により参加者の減少した。</li> <li>→掲示板の他に民生委員・ボランティアからの声かけ、口コミにより周知した。</li> <li>内容を楽しいものにした。</li> <li>→「来てよかった」と思えるもの、情報の伝え方を工夫する。</li> </ul>	外出の機会を促し、街の情報伝達、友人づくり	6月23日、10月27日、2月23日実施 ・講話、脳トレ、歌等
根岸	地域で子どもを見守ろう(地域で子育て)	交流	子ども・青少年	○	○	○											老人会など	小中学生	世代間交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の見守りと防犯パトロール。夜間防犯・防災パトロールの実施。</li> <li>・「挨拶運動」で小学生にポスター作成を呼びかけ、庁内の掲示板・庁内会館・地区センターに掲示。参加賞を届けた。</li> <li>・健民祭(10月12日根岸小学校)への参加の呼びかけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り・防犯パトロールや「挨拶運動」を通して、小学生が大きな声で挨拶ができるようになった。話しかけにも「はきはきと答えられるようになり、小学生からの声かけも多くなっている。</li> <li>・体育祭、文化祭、合唱コンクール等学校行事への参加者が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事(祭り、餅つき等)積極的に声をかけ参加を呼びかけていく。</li> </ul>	世代間交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生に「あいさつをしよう」などのポスターをかいてもらい、掲示する。</li> <li>・登下校時の見守りの実施する。</li> <li>・防犯パトロールを各町内会で実施する。</li> <li>・健民祭への参加の呼びかけろ。</li> <li>・町内会ごとに盆踊り、夏祭り、餅つきなどを実施する。</li> </ul>
根岸	健康でいきいき暮らそう	健康	体操	○	○													一般住民	保健活動推進員の活動に協力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ・リズム・はまちゃん体操</li> <li>年8回(延べ291人参加平均36人)</li> <li>・「もしもあなたが脳卒中になったら」H21年2月2日(84人参加)</li> <li>・「手洗いでかぜ予防」2月4日(19人参加)</li> <li>・「もうすぐママ・ママの会」(20人参加)</li> <li>・健康フェスタ参加(12人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的実施することで地域に定着してきている。</li> <li>・脳卒中の恐ろしさを知り、生活習慣を見直す機会となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の健康のために継続していきたい。</li> </ul>	介護予防	年6回 ストレッチ、リズム体操、血流チェック、講話等を実施する。
根岸	災害時のための要援護者の把握	防犯・防災	—	○	○	○											消防団 地域ケアプラザ	要援護者	防災パスポートの登録・発行を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食活動により安否確認を行い、変化があれば民生委員・地域ケアプラザにつなげて訪問してもらう。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災時の要援護者の把握とする。</li> <li>・中途障害者の機能低下・閉じこもり予防をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災パスポート(命のパスポート)登録・発行</li> <li>・防災訓練を年2回実施</li> <li>・ふれあい会</li> <li>・毎月第3金曜日実施</li> <li>・手芸・散策・バスハイク・料理等</li> <li>・&lt;愛のお弁当&gt;</li> <li>・週1回配達</li> </ul>	

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績-21年度計画)

根岸

資料1

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)				
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容		
根岸	根岸の広場	交流	全世代														地域住民	H21年度新規事業					地域全体の交流を図る	・根岸を題材にしたカルタづくり。 ・広場に集い、カルタ取り・昔遊び等いろいろな催しをする。
根岸	おしゃべり会	交流	高齢者														高齢者	H21年度新規事業					高齢者のねたきり予防のため	毎月3回(10、20、30日)体操・ゲーム・脳トレ・折り紙・手芸等実施する。ボランティアの作った具沢山の味噌汁と持参のお弁当を食べて交流する。
根岸	地域支えあい事業 <見守り・訪問活動等>	見守り・訪問	—														ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす	<見守り訪問(随時)> ・月末にごみ出しカレンダーを配布。各町内、自治会がそれぞれに見守り実施(洗濯物、夜の電灯、雨戸の開閉等) ・特に認知症の方等を介護されているご家族の話し相手となっている。 <しあわせバンク> ・ごみ出しカレンダー、カレンダーを貼るマグネットの配布する。 ・パソコン教室を開催する。	<訪問事業> ・委員の努力、あるいは高齢者・障害者のいしきが高まったためか、地域がまとまりつつあるように感じている。 <しあわせバンク> ・ごみ出しカレンダーを配布することにより、より多くの人と交流ができてきている。収集日を間違える人も減り、集積場所がきれいになっている。	・住民一人一人が町を守る意識を高める。 ・ケア連絡会の積極的な働きかけ	1人暮らし高齢者や高齢者世帯に対し、見守り・訪問活動を実施する	・各町内会、自治会の訪問チームが対象者の見守り訪問を随時行う ・カレンダー配布、毎月末民生委員が訪問し配布している。	
根岸	地域支えあい事業 <地区全体会・研修会等>	講座	—														訪問員等	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす	<講演会> 3回実施 「認知症をみんなで知ろう」 「もしもあなたが脳卒中になったら」 「高齢者の虐待防止について」	委員の努力あるいは高齢者・障害者の意識が高まったためか、地域がまとまりつつあるように感じている。	—	支えあい訪問員のより一層の向上を目指し、情報交換、研修、会議を開催する。	・スイッチON磯子推進委員会 年3回 ・しあわせバンク会議 月1回 ・地域ケア連絡会全体会 年2回 ・支えあい訪問員研修会 ・チーム会議も随時開催	
根岸	地域支えあい事業 <その他>	見守り・訪問	—														ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす	<愛のお弁当> 配達年49回・2,597食・月56人 <おしゃべり会> 年間544人 <ふれあい給食会> ・65歳以上の一人暮らしの方を対象 ・地区情報の提供等の情報交換実施「 ・民生委員、日赤、ボランティアの3団体で昼食づくり <手芸講座>	委員の努力あるいは高齢者・障害者の意識が高まったためか、地域がまとまりつつあるように感じている。	—	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす	毎月第3木曜日 民生委員、ボランティア、日赤奉仕団	



■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

滝頭

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)			
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容	
滝頭	地域支えあい事業 <見守り・訪問活動等>	見守り・訪問	—		○												ひとり暮らし高齢者など	要支援者に対する安否確認・見守り活動	<見守り・訪問活動> ・5地区に分かれ、小グループで対象世帯の見守りを実施。郵便受けや照明の様子に気をつけ、早期発見に務めている。 ・愛のお弁当による週1回の配食サービスによる安否確認の協力あり	地道で目立たない活動であるが、地域でなかなければできない。ケアプラザとの連携により、大事に至らず未然に防げた例も数え切れない。	—	要支援者に対する安否確認・見守り活動	・5地域に分かれて訪問を実施。特に注意を要する世帯に対しては、小グループで見守り、情報交換の場を持つ。 ・愛のお弁当の配食による見守りを行い、必要に応じて他機関・団体との連携、情報提供を実施する。
滝頭	地域支えあい事業 <地区全体会・研修会等>	調査・検討・会議	—		○												要支援者に対する安否確認・見守り活動	・地区連絡会2回、役員会4回、岡村地区合同会議2回、磯子区全体研修会1回、「しあわせバンク」4回	—	—	地域ケアプラザとの連携、ささえあい訪問員同士の情報交換等実施。	・滝頭・岡村地域支えあい連絡会合同会議 年2回 ・滝頭地区支えあい連絡会 年3回 ・磯子区地域支えあい事業訪問員全体研修会 年2回	
滝頭	地域支えあい事業 <その他>	見守り・訪問	—		○												ひとり暮らし高齢者・日中独居高齢者・高齢者夫婦	引きこもりの高齢者の外出促進と交流の場の提供及び滝頭地域ケアプラザを知ってもらおう機会とする	<サロン滝さん> ・第7回 7月14日(110人参加) 内容:津軽三味線・尺八演奏、近隣保育園児童の合唱 ・第8回 1月28日(124人参加) 内容:獅子舞・近隣保育園児童の合唱 <ミニサロン> ・自治会館、町内会館規模で全10回開催。 ・軽い体操、折り紙、ゲーム、昔話、紙芝居、唄等 楽しみ昼食をとる ・計300人参加	—	<サロン滝さん> ・回を重ねるごとに盛り上がり、参加者も増えているため、会場の設定に苦慮している。 ・内容の検討の必要性もあり、次回アンケート実施予定。	<サロン滝さん> 引きこもりの高齢者の外出促進と交流の場の提供	<サロン滝さん> 年2回開催予定(7月22日・1月)

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績-21年度計画)

岡村

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)				
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容		
岡村	高齢者の集い	交流	高齢者	○	○		○	○									寿老クラブ	地域内77歳以上の参加希望者	70歳以上の高齢者を対象に、講演による情報提供、会食、相互交流等を行う。(地区社協と共催)	・第1回 6月22日(88人参加) 内容:講話1「青少年問題・地震災害について」 講話2「後期高齢者保険制度の現状」 ・第2回 11月3日(84人参加) 内容:講話「地震災害について」	・高齢者同士の交流。 ・居場所の提供。	参加者の拡大、算及び従事者の負担、会場の確保が問題。	70歳以上の高齢者を対象に、講演による情報提供、会食、相互交流等を行う。(地区社協と共催)	年2回実施 ・第1回目 6月21日(日)会食 ・第2回目 11月3日(文化の日)講演、会食内容は未定 (高齢者情報・講演、会食、ビンゴゲーム、園芸及び相互交流)
岡村	児童・生徒育成講座	講座	—	○													自治会青少年部	地域内の子ども及び保護者・子ども会役員・委員・婦人青少年部役員	子どもの自立と活動、子どもによる子ども会の育成を目的に、講演会及び意見交換会を開催	7月6日実施(11人参加) 内容:岡村中学校校長の講話「青少年の育成について」ご自身の子どもの頃の親子関係、修学旅行での話等 親子による意見交換会	・親子の対話の機会提供 ・親子のコミュニケーションの推進	・参加者数が少ないことが課題である。親子参加0 ・PR方法の工夫を検討し、今後も実施を継続したい。	子どもの自立と活動、子どもによる子ども会の育成を目的に、講演会及び意見交換会を開催	7月5日(日) 笹下中学校長「ロシアにおける子どもたちの状況」 会食と意見交換
岡村	防災弱者・要介護者調査	防犯・防災	—	○	○			○										寝たきり・歩行困難者・認知症・ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦	大型災害発生時に救済を必要とする弱者・要介護者等の調査を実施し、いざという時の救済対応資料とする。	・6月11日調査の説明会実施(35参加) ・6~9月に、要介護者(ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・日中独居世帯・その他災害時に支援を要する方々)及び障害者を訪問調査。 個人情報保護の必要者への開示の可否についての調査。調査結果をまとめた。	・防災弱者、要介護者の状況把握	・個人情報の開示了解者は調査者の3分の2に前進。 ・次年度からは、3年に一度程度の調査とし、民生委員・ささえあい訪問員の議歩運動活動情報で補完していく。	大型災害発生時に救済を必要とする弱者・要介護者等の調査を実施し、いざという時の救済対応資料とする。	過去3年間、調査更新を実施し対象者の把握ができた。直接訪問調査は3年ごとの実施とし、その間は支えあい・民生委員等の見守り・訪問活動等により更新していく。
岡村	親子工作教室	講座	—	○														地域内の子ども及び保護者・子ども会役員・委員・婦人青少年部役員	親子のふれあい事業として、工作教室を開催する。	・7月20日 ペットボトルロケットづくり(10組参加) ・11月23日 作成したペットボトルロケットを飛行(見学者も含めて50名程度参加)	親子でのものづくりは、親子のコミュニケーションづくりに最適	当面ペットボトルロケットづくりを推進していく。将来的にはいろいろな工作教室を検討する。	親子のふれあい事業として、親子工作教室を開催する。	地区の青少年指導員が主催している「ペットボトル・ロケットづくり」をスイッチONが資金的にバックアップ。 7月19日(日)ペットボトルロケット作成 11月22日(日)藤の木中学校校庭にて飛行競技を実施
岡村	歴史散歩・健康福祉大会	健康	健康チェック	○	○	○		○	○									65歳以上の高齢者で地域内歩行が可能な人	高齢者に対する軽い運動を兼ねて地域内の歴史散歩を行い、地域理解を深める。	・第1回目11月8日(36人) 内容:血圧測定、健康チェック、はまちゃん体操、散策(金剛院)昼食 ・第2回目2月21日(39名) 内容:血圧測定、健康チェック、はまちゃん体操、散策(岡村梅林・岡村公園)、昼食、懇談会	・高齢者の健康維持管理の促進 ・高齢者の相互交流	岡村の山坂を歩くことが苦手な方が多く、できるだけ高所を避けて歩くことを目的に実施する。	高齢者を対象に、健康維持を図る。	・血圧・体重測定検査を実施し、自身の健康状態を知る。その後町内の歴史・史跡等を散策する。 10月22日実施予定 2月17日実施予定

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

岡村

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)			
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容	
岡村	認知症講演会	健康	健康チェック	○													一般	—	11月12日講演会実施 講師:八森淳先生 内容:みんなで知ろうよ認知症	・認知症への予防、家族・周りの対応の必要性がよく分かり、今後の地域での対応の参考になった	今後もこのような講演会等を取り入れていきたい	—	—
岡村	「スイッチON磯子」アンケート実施	調査・検討	—	○	○											梅まつり実行委員会	梅まつり会場にて「スイッチON磯子」に関するアンケートを実施し、今後の目標見直し資料とする。	3月2日 岡村梅林梅まつり会場にて「スイッチON磯子」のPR・地域住民の求める内容の把握のためのアンケートを実施。400枚のうち269枚回収。	アンケート結果により、来年度のスイッチON磯子の活動内容を決定。昨年同様の結果が得られた。	活動を通じて地域住民へPRしていく。アンケートも計画していく。	梅まつり会場にて「スイッチON磯子」に関するアンケートを実施し、今後の目標見直し資料とする。スイッチON活動の認知度の状況把握を行う。	2月28日岡村梅林梅まつり会場でアンケートを実施する。3月中にアンケートをまとめ、22年度のスイッチON磯子の活動目標に利用する。	
岡村	防災の日・要介護者救済訓練	防犯・防災	—	○	○	○		○								防災訓練参加者及び参加者内の障害者等	弱者・要介護者調査をもとに、災害時の救済活動訓練を実施する。また、救済に必要な用具等の検討等を行う。	(実施せず)	—	—	防災訓練参加者の児童・生徒を主な対象者に、要介護者の救済を想定し、車いす・簡易担架及びリヤカーによる要介護者救済を実施する。	車いすの使い方、及び人を乗せての運び方。簡易担架の作り方及び人を乗せての運び方、同リヤカーによる人の運搬等を訓練すう。	
岡村	地区社協第2回総会・諸団体報告会	調査・検討・会議	—													各団体委員等	H21年度新規事業	—	—	—	諸団体間の相互信頼関係を深める	12月6日(日)	
岡村	地域支えあい事業 ＜見守り・訪問活動等＞	見守り・訪問	—	○												ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	地域に在住するひとり暮らし高齢者等の安否確認等の見守り訪問を推進する。	各地域ごとに見守り訪問(「防災弱者・要介護者」訪問聞き取り調査)及び70歳以上の安否確認8～9月に実施。安否確認は随時実施。	・「防災弱者・要介護者」聞き取り調査、訪問により災害時のことを心配している人が多かった。近隣の人と声掛けができたことに効果があった	—	地域に在住するひとり暮らし高齢者等の安否確認等の見守り訪問を推進する。	支えあい訪問員のメンバー数名でチームを組み、担当地域内の対象者を必要に応じて見守り訪問を行う。	
岡村	地域支えあい事業 ＜地区全体会・研修会等＞	調査・検討・会議	—	○												ささえあい訪問員。スイッチON地区役員	支えあい従事者の仲間作り、勉強会	＜推進委員会＞3回 ＜地区全体会＞1回 路上車いす体験 ＜研修会＞1回 ささえあい事業について ＜全体研修会＞ みんなで知ろうよ認知症 ＜滝頭地区合同連絡会＞2回	—	健康についての研修会を実施予定。	支えあい従事者の仲間作り、勉強会	＜定例会＞ 年5回 ＜研修会＞ 内容:高齢者健康学習、高齢者との交流(年1～2回)	

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

磯子

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)			
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容	
磯子	ラジオ体操・ふれあい体操	健康	体操	○													地域住民	住民の健康増進及び住民間の親睦	<ラジオ体操>毎月第2・4土曜日に芦名橋公園にて実施。毎回約30人参加。 <ふれあい体操>毎月第3土曜日に山王台小学校体育館にて実施。講師の指導のもとに、リズム体操、ゲーム、ストレッチなどを行っている。毎回約20人参加。	<ラジオ体操> ・継続して実施することで、体の柔軟性、敏捷性が向上した。 ・会員同士の親睦、親密度が深まった。 <ふれあい体操> ・健康に関する意識の向上 ・参加者同士の親睦を図る ・異世代間の交流の推進	<ラジオ体操> ・参加者の固定化が見られ、会場を磯子小学校に移転し、第2、4土曜日とする。 <ふれあい体操> ・参加者の固定化傾向。新規加入者を増加させる取組の必要性、近隣で誘いあつての参加奨励する。	住民の健康増進及び住民間の親睦	・ラジオ体操 毎月第2・第4土曜日に磯子小学校にて実施する。 ・ふれあい体操 毎月第3土曜日に山王台小学校にて実施。ストレッチや器具を使った体操、ゲームなどを講師の指導のもとに実施する。
磯子	地域支えあい事業 <見守り・訪問活動等>	見守り・訪問	—	○													ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	見守り・訪問活動の実施	—	—	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	見守り・訪問活動の実施
磯子	地域支えあい事業 <地区全体会・研修会等>	調査・検討・会議	—	○													訪問員等	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	<研修会> 11月20日 南部児童相談所見学 (28人参加) <反省会> 3月23日 48人参加 ・スイッチONとの関係 ・訪問員の選出方法 ・各町内会の取組方法 ・H21年度活動について	<研修会> 施設の実情を理解できた <反省会> 会員同志の親密度が増し、各人の疑問点等も解決できた。	<反省会> 年に2回開催していきたい	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	研修会等実施
磯子	地域支えあい事業 <その他>	交流	高齢者	○	○												ひとり暮らし高齢者	高齢者の引きこもり防止及び仲間づくり	全8回実施 延べ318人参加 内容:体操、落語、クリスマス会、包括支援センター合同研修会	—	・内容や会場により、参加者のバラツキがある ・民生委員、当番制等組み入れ工夫をしたい	地域在住のひとり暮らし高齢者等の健康増進と引きこもりの防止	年2回の落語会 ふれあい体操会 クリスマスの会

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

汐見台

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)				
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容		
汐見台	グラウンドゴルフ大会	交流	全世代	○														汐見台住民(幼児から高齢者まで)	幼児から高齢者まで、ゲームを楽しみながらコミュニケーションを図る。	11月23日 汐見台小学校庭(50人参加) 子ども連れの親子や、中学生と先生方、PTAチーム等の参加あり	・昨年も取り組んだ企画であり、スムーズに行えた。 ・参加した中学校の広報に取上げられ好評。	・恒例行事としたい。 ・中学生を中心に計画段階から参加していただくこと等話合った。	幼児から高齢者まで、ゲームを楽しみながらコミュニケーションを図る。	6月28日 汐見台小学校校庭にて実施予定。
汐見台	芋掘り	交流	全世代	○														汐見台住民(幼児から高齢者まで)	幼児から大人まで一緒に土とふれあい、収穫を喜ぶ。	11月25日 舞岡ふるさと村(20人参加)	・芋畑の中での一日体験は有意義だったと思う。地域の方々とのふれあいは成功だった。 ・収穫体験はよかったのでは。	・来年度も実施予定。	幼児から大人まで一緒に土とふれあい、収穫を喜ぶ。	10月中旬 舞岡ふるさと村にて実施予定。
汐見台	子どもと親とのふれあい交流会	交流	子ども・青少年	○												汐見台小PTAふれあい交流室運営委員会	汐見台小の子ども・親	幼児、低学年の親子を中心に楽しむことを目的とする。	11月29日「プラレールで遊ぼう」 ふれあい交流室で、スケールの大きいプラレールを組立て、親子連れとの交流を行った。	11月29日開催 ・汐見台小学校ふれあい交流室を利用した事がよかった。 ・小学校、PTAと交流ができた。	—	幼児、低学年の親子を中心に楽しむことを目的とする。	「プラレールで遊ぼう」汐見台小学校ふれあい交流室にて実施予定。	
汐見台	地域支え合い事業<見守り・訪問活動等>	見守り・訪問	—	○														ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	・ひとり暮らし高齢者に対し、ふれあい茶話会、昼食会、給食会の案内状を配布するとともに安否確認を行った。 ・寝たきり高齢者への訪問。	見守りは、民生委員と高齢者とのコミュニケーションの場となっている。	見守りの時点で、健康上すぐれない方へ、無理のない交流方法を行政に相談しながら考えたい。	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	12月頃、バスタオルを配布する。
汐見台	地域支え合い事業<その他>	交流	高齢者	○	○													汐見台居住の65歳以上高齢者	高齢者の交流の場づくり	11月1日 汐見台会館にて実施 ・民生委員、保健活動推進員、友愛活動推進員が、支えあい事業として案内状を届けながら安否確認を行い、参加者を呼びかけて実施。	—	—	高齢者の交流の場づくり	11月に汐見台会館にて実施予定。今年度は参加者が自主的に楽しめるよう工夫する。 10月上旬に安否確認をかねて参加を呼びかける

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)					
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容			
屏風ヶ浦	障害者との交流会「わいわい」	交流	障害者	○				○										各障害者団体	地域住民	地域の健全者、障害者、子どもたちとの交流を深め、地域のバリアフリーを進める。	・久良岐公園お花見会 3月28日実施(70人参加) 参加者を8つのチームに分けクイズ大会を実施し交流を深めた。	地域の親睦を深めることができた。	地域に根ざした活動に していくためには、今後も 継続して連合町内会の定 例会に出向き、屏風ヶ浦 地区の活動の広報を行 なっていく。	地域の健全者、障害者、 子どもたちとの交流を深 め、地域のバリアフリーを 進める。	・障害についての周知活 動として、イベント、勉強 会、講習会を実施する。 ・実施主体となる団体数 が多いため、定期的会議 にて情報交換を行い、地 域力を高める。
屏風ヶ浦	サロン梅の里	交流	全世代	○														地域住民	・世代を超えた集いの場 づくり及び梅に関する勉 強会 ・「ひとにやさしい屏風ヶ 浦」の周知	2月22日実施(70人参加) 内容:妙法寺の梅の見学 会、梅についての歴史講 演会、梅に因んだ短歌・ 俳句の紹介・投票を行っ た。	杉田梅の歴史を学ぶとど もに、梅の話題を通じて 地域の方々が触れ合う機 会を得ることができた。	地域に根ざした活動に していくためには、今後も 継続して連合町内会の定 例会に出向き、屏風ヶ浦 地区の活動の広報を行 なっていく。	・世代を超えた集いの場 づくり及び梅に関する勉 強会を実施。	・「梅」に関する講習会 年1回 ・イベント等において周知 活動	
屏風ヶ浦	屏風ヶ浦の歴史	交流	全世代	○													歴史・ 民族研究会	地域住民	地域の歴史を伝える担い 手としての地域在住高齢 者と若い世代との世代間 交流の場づくり	「ぶらり屏風ヶ浦、森村を 歩く」 ・3月15日(44人参加) 内容:縄文時代から続く 森村の歴史を学び、実際 にある事で地域を知る。 住民の交流も兼ねる。	ウォークラリーの要素を取 り入れた屏風ヶ浦の歴史 散策を通じて地域を知る 事ができた	地域に根ざした活動に していくためには、今後も 継続して連合町内会の定 例会に出向き、屏風ヶ浦 地区の活動の広報を行 なっていく	地域の歴史を伝える担い 手としての地域在住高齢 者と若い世代との世代間 交流の場づくり	・年代別の講演会、勉強 会の開催。 ・勉強会実施時または実 施後に、歴史にまつわる 場所への研修会実施 ・地域の歴史を伝える担 い手となっていただけ 高齢者世代の発掘。	
屏風ヶ浦	久良岐公園お花見会	交流	全世代	○														地域住民	地域交流	3月28日実施(70人参 加) 参加者を8つのチームに 分けクイズ大会を実施し 交流を深めた。	地域の親睦を深めること ができた。	地域に根ざした活動に していくためには、今後も 継続して連合町内会の定 例会に出向き、屏風ヶ浦 地区の活動の広報を行 なっていく	—	—	
屏風ヶ浦	「スイッチON磯子」講習会	講座	—	○														関係団体	計画の周知	6月21日(40名参加) 「スイッチON磯子」の計 画策定の経緯や地区の 取組を、地域の関係団体 の役員等へ説明を行っ た。	「スイッチON磯子」につ いて理解を進められた	地域に根ざした活動に していくためには、今後も 継続して連合町内会の定 例会に出向き、屏風ヶ浦 地区の活動の広報を行 なっていく	高齢者の安否確認及び 外出機会の提供	・ひとり暮らし高齢者等 の安否確認。 ・各自治会町内会単位 の食事を実施。	
屏風ヶ浦	地域支えあい事業 <見守り・訪問活動等>	見守り・ 訪問	—	○														ひとり暮らし高齢 者など援護を要 する区民	高齢者の安否確認及び 外出機会の提供	<見守り活動> ・ひとり暮らし、寝たきり、 高齢者世帯その他援護 を要する住民の訪問活動	—	—	高齢者の安否確認及び 外出機会の提供	・ひとり暮らし高齢者等 の安否確認 ・各自治会町内会単位 の食事を実施 ・支えあい連絡会を、支 えあい活動に携わるボラ ンティア、友愛活動員、民 生委員等の情報交換とし て年2回実施	
屏風ヶ浦	地域支えあい事業 <その他>	見守り・ 訪問	—	○														ひとり暮らし高齢 者など援護を要 する区民	高齢者の安否確認及び 外出機会の提供	<給食会> 年3回実施 <その他> 高齢者に災害時用にホ イッスルを配布	—	—	高齢者の安否確認及び 外出機会の提供	・ひとり暮らし高齢者等 の安否確認。 ・各自治会町内会単位 の食事を実施。 ・支えあい連絡会を、支 えあい活動に携わるボラ ンティア、友愛活動員、民 生委員等の情報交換とし て年2回実施。	

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

杉田

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)				
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容		
杉田	青少年と大人たちの交流	交流	子ども・青少年	○													小学校・中学校	青少年・学校関係者・地域住民	青少年と大人たちの協働による地域活性化のための活動を展開する。	3月20日「青少年と大人(地域)との交流会」実施(175人参加・うち中学生72人・小学生28人) 内容:野外食事会と懇談会	青少年の健全育成には、青少年と地域社会(大人)が一体となって「作り、食べる、語る」野外食事会の開催はその距離を近づけ溝を埋める効果がある。	地域と無関係になっている中学生・高校生にどのように参加を呼びかけるかが課題。地域は中学生・高校生に対し個別に呼びかける手段を持たない。ポスター掲示では効果が薄い。	恒常的な青少年とのつながりづくり、交流の場づくり、さらにひとづくりを目指す。	・交流部会年5回 ・「青少年と大人の交流会」開催の企画。
杉田	防犯・防災	防犯・防災	—	○	○												地域住民	地域での連携・交流をもとに防犯・防災を進める。	第1回目 3月7日(52名参加) 内容:「防災教室」 講師:磯子消防署杉田出張所所長 第2回目 3月14日(48名参加) 内容:「防犯教室」 講師:磯子警察	専門的な立場からの話は大変焼くに立った。	・日程等も含め、多くの方が参加できる工夫をした。	地域での連携・交流をもとに防犯・防災を進める。	時期:2月ごろ 内容:見学会及び講演会・講習会・懇談会の開催。	
杉田	高齢者の健康づくり	健康	体操その他	○													高齢者	高齢者の生きがいづくり、健康づくりを進める。	・全12回開催 ・高齢者を対象とした行事(健康体操、料理づくり、唱歌、ウォーキング等)	仲間ができた事。	参加者を集める事が難しい。	—	—	
杉田	地域支えあい事業 <見守り・訪問活動等>	見守り・訪問	—	○													ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	地域に暮らす誰もが安心して生活を営めるよう、訪問・見守り活動を中心に、各種福祉行事への参加を進める。	17町内会を拠点として、訪問員29チーム・88人がそれぞれの地域の実情に応じて活動を実施。	—	今後の活動について地域の中で相談していきたい。	地域に暮らす誰もが安心して生活を営めるよう、訪問・見守り活動を中心に、各種福祉行事への参加を進める。	—	
杉田	地域支えあい事業 <地区全体会・研修会等>	調査・検討・会議	—	○													ささえあい訪問員	地域に暮らす誰もが安心して生活を営めるよう、訪問・見守り活動を中心に、各種福祉行事への参加を進める。	<推進委員会> 年4回実施 <全体会> 「訪問時におけるコミュニケーションの取り方」	—	今後の活動について地域の中で相談していきたい。	地域に暮らす誰もが安心して生活を営めるよう、訪問・見守り活動を中心に、各種福祉行事への参加を進める。	—	



■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)					
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容			
洋光台	交流の集い「ふれあいわくわくまつり」	交流	高齢者・障害者	○		○	○	○										洋光台協ケアプラザ	高齢者・障害者・一般住民	障害者、健常者、老若男女を問わず、あらゆる人たちが一つの輪をつくり、交流を楽しむ。	10月5日「洋光台ふれあいわくわくまつり」(600名弱参加) ・屋台10台:障害者作業所等 ・遊び:バルーンアート、昔遊び等 ・催し:歌声喫茶、三味線と唄、サクソフォン演奏、おやじバンド、ウクレレ等 ・展示:障害者の作品展、からだ測定隊の健康チェック	高齢者・障害者を中心とした「交流の集い」からバリアフリーを目指し洋光台全体の「ふれあいわくわくまつり」になって2回目、「磯子まつり」の一環として、多くの参加者があり、地域住民に浸透しつつある手応えを感じた。 ・多くの関係者の力が集結して「まつり」を作り上げる事で、相互理解・一体感が進み担い手側にも良い効果があった。	担い手の輪を広げる ・中学校に声をかけ、まずは出演者として、徐々に担い手としてまつりの輪に入ってもらおう。	障害者、健常者、老若男女を問わず、今年も洋光台を意識し一つの輪を作りたい。	21年10月4日 地域ケアプラザ全館を使用。昨年と同様の規模で、屋台・展示・歌声喫茶・地域団体発表等。
洋光台	歌声喫茶	交流	団塊世代	○													いきいき「熟」洋光台	高齢者・団塊の世代を中心とした一般住民	健康づくりの一環として、誰でも気軽に参加して歌を楽しむ。	・第1回 4月20日(53名参加) ・第2回 6月29日(533人参加)  内容:ピアノ、ギター、アコースティックギター伴奏にあわせてみんなで一緒に歌を歌う。健康づくりの一環のため大きな声で歌う事を目的とする。 ・第3回 10月5日 いきいきわくわくまつりで披露	・高齢者が気軽に集える場の提供ができた ・新規の参加者も多かった。 ・「大きな声」で歌う事もできた。 ・休憩時は参加者の交流も図れた。	・定期的開催:開催周期の固定化と伴奏スタッフの担い手を増やす。 ・運営スタッフを増やす:参加者や団塊の世代地域デビュー講座の受講生に呼びかける。	健康づくりの一環として大きな声で歌える場を目指す。	4月26日(日) 7月19日(日) 10月25日(日) 1月24日(日)  ふれあいわくわくまつり参加	
洋光台	団塊世代の地域デビュー講座	講座	—	○													いきいき「熟」洋光台	団塊の世代を中心とした一般住民	H20年度未実施 H21年度に向けて調整					団塊の世代の地域活動への参加を促す取組	6月7日(日) 14日(日) 21日(日) 28日(日) 7月26日(日)実施
洋光台	さわやかサロン	交流	全世代														いきいき「熟」洋光台	一般住民	誰でも気軽に立ち寄れる仲間づくり、憩いの場等居場所づくりを目指す。 内容:ホタル狩り、しんのみまつり参加、新年お茶会、回想法、おもしろレシピ等。	・地域の中で親しい友人関係ができたり、話を聞いてもらえて嬉しかったと感想を寄せられた。 ・ひとり暮らしの高齢者の参加が見られた。	将来的には誰にでも利用できる「福祉カフェ」にした。専用で使用できる場所の確保が課題。	気楽に誰でもふらっと立ち寄れる憩いの場づくりを目指す	毎月第4火曜日		
洋光台	折り紙講座	講座	—	○	○													65歳以上の一般住民	おしゃべりをしながら指先を動かす、作品を完成させる楽しさを感じてもらおう。	3月26日(25名参加) ラム入り折り紙でブローチを作成	「指先を動かすことは脳の活性化につながる」と高齢者には好評だった	講師一人では、全員の方のペースに併せて教える事は難しい。委員が事前に講師と調整アシスタントになる。	「手づくり教室」指先を使い、新しい事に挑戦し右脳を活性化させる	4か月に1回開催	

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

洋光台

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)											
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容									
洋光台	「梅まつり」抹茶サロン	交流	—	○																				地域住民	H21年度新規					連合主催の「梅まつり」にスイッチON洋光台として参加協力	22年2月洋光台梅まつりで抹茶コーナーを作り提供
洋光台	地域支えあい事業 ＜見守り・訪問活動等＞	見守り・訪問	—		○	□																		ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	・見守り・訪問活動の実施	—	—	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	見守り・訪問活動を引き続き実施する。	
洋光台	地域支えあい事業 ＜地区全体会・研修会等＞	調査・検討・会議	—		○																			支えあい訪問員	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	＜役員会＞1回 ＜全体会＞ 7月31日(60名参加) ・20年度支えあい事業について ・AEDの操作法訓練 講師:磯子消防署洋光台出張所所長	—	—	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	見守り・訪問活動を引き続き実施する。	
洋光台	地域支えあい事業 ＜その他＞	見守り・訪問	—		○			○																ねたきり高齢者	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	・出前おしゃべりサロン5回実施(各回35名程度参加) 内容;DVD鑑賞、体操、ゲーム等、抹茶 ・紙おむつの配布	各地区個性的なサロンとなり役員が提供する抹茶と和菓子も大変喜ばれた。足の弱い方にも気軽に参加でき、支えあい訪問員同志の交流の場になった。	・集会場の大きさにより、参加人数が限られてしまう。参加者多数の場合は2回に分けて行う。 ・抹茶茶碗の確保。寄付を募るよう声かけ。	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	見守り・訪問活動を引き続き実施する。	

■「スイッチON磯子」各地区の取り組み状況一覧(20年度実績－21年度計画)

上笹下

地区名	取り組み名	大分類	小分類	実施団体											対象者	20年度(実績)				21年度(計画)					
				推進委	ケア連	町内会	地区社協	民生	保活	友愛	青指	体指	子ども会	ボラ		その他	目的	内容	実施効果	課題等	目的	内容			
上笹下	三世代交流事業	交流	全世代	○	○	○	○												子ども・高齢者・保護者(育成者)	三世代交流を進める。	11月7日 バスハイク(34名参加) 4団体合同の初めての事業 行き先:静岡	4団体合同で、予算上も大きな事業を実施できた。スタッフ集め、参加者集めも効果あり。参加者からも好評。	一歩が始まりました。次は企画が勝負です。		
上笹下	防災訓練の実施	防犯・防災	—	○	○														地域住民	いざという時のために、充実した防災訓練を実施する。	・8月31日「防災訓練」(131名参加) ・3月1日「拠点防災訓練」(88名参加)	他団体との取組の効果を実感した。参加者の声も良好。	今後充実をしていける事業です。		
上笹下	地域支えあい事業 <見守り・訪問活動等>	見守り・訪問	—	○			○	○	○								日赤奉仕団	ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	<見守り訪問> 10月まで、5団体で毎月一回実施。 以後は対象者がおらず、定期訪問以外の見守りを実施。	—	—	役員の交代により現在作成中		
上笹下	地域支えあい事業 <地区全体会・研修会等>	調査・検討・会議	—	○															支えあい訪問員	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	<研修会> 2回実施(13名、21名参加)	—	—		
上笹下	地域支えあい事業 <その他>	見守り・訪問	—	○			○	○	○										ひとり暮らし高齢者など援護を要する区民	援護を要する区民が安心して生活できることをめざす。	<和・輪スペース上中里> 毎週水曜日開催 全31回 延べ224名参加	—	—		

## 【一覧表の見方について】

### (1)分類の考え方

大分類	小分類
交流	高齢者
	障害者
	子ども・青少年
	団塊世代
	全世代
	その他
	健康
健康	体操
	健康チェック
	その他
見守り・訪問	—
防犯・防災	—
講座	—
調査・検討・会議	—

### (2)実施団体の略称について

推進委	地区推進委員会
ケア連	地域ケア連絡会、支えあい連絡会
町内会	自治会町内会または地区連合町内会
地区社協	地区社会福祉協議会
民生	民生委員・児童委員
保活	保健活動推進員
友愛	友愛活動推進員
青指	青少年指導員
体指	体育指導委員
子ども会	子ども会
ボラ	ボランティア

※「交流」の小分類は、対象者によって分類しました。

※「健康」の小分類は、内容によって分類しました。

※いずれの取り組みも複数の要素や目的をもっていると思われるが、一定の傾向をつかむという目的のため、上記のいずれかに分類しておりますので、ご了承ください。

### 資料1をご覧になる方へのお願い

本資料は、「スイッチON磯子地区推進委員会」及び「地区地域ケア連絡会」からご提出いただいた事業報告書と活動計画書を集計したものであり、集計にあたっては、表現の簡略化等の修正しか行っておりません。そのため、各地区毎に報告方法が異なる場合があるという前提で、本資料をご覧ください。

#### <例1>

お一人が複数の役職を兼ねている場合に、実施団体の報告にあたり、A地区では一方の役職しか報告しないが、B地区では両方の役職を報告している。

#### <例2>

高齢者向けの活動内容の報告にあたり、A地区ではいくつかの活動をまとめて1事業として報告するが、B地区ではそれぞれを別の事業として報告している。